

【調査結果】

10万円給付金の寄付に関する意向調査

2020年 4月30日

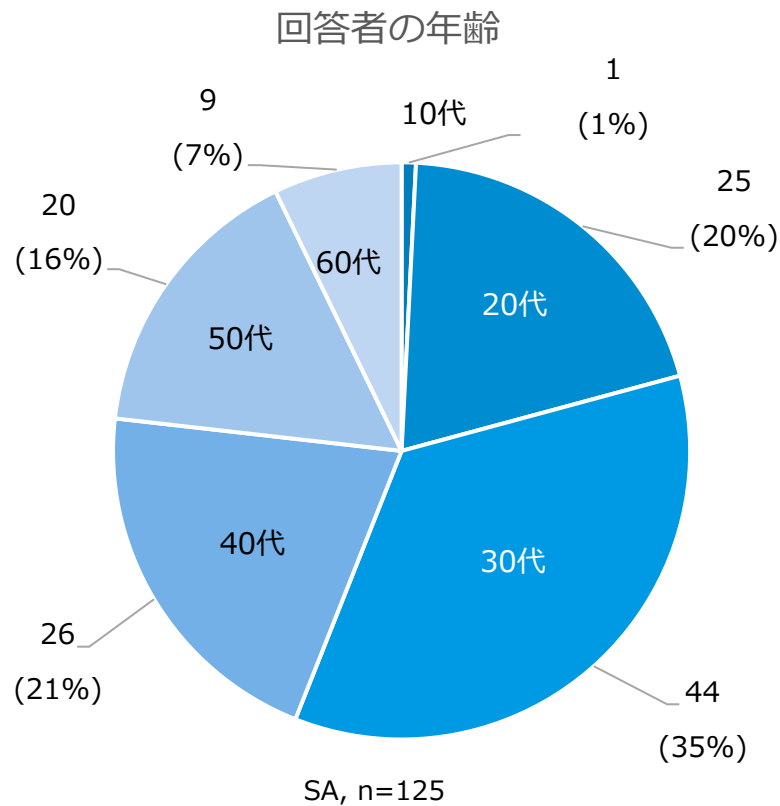
ケイスリー株式会社

1. 調査概要

本調査の趣旨	10万円給付金の寄付へのニーズを把握し、緊急性の高い課題に取り組む活動へ効率的且つ効果的に資金を流す仕組みづくりに活用すること
期間	2020年4月24日～4月28日
対象者	特別定額給付金の受給資格を有する一般生活者
実施方法	オンラインアンケート * 図表内凡例：SA：単一回答の設問、MA：複数回答可とする設問
回答数	125件

2. 回答者の属性

- 回答者は30代が最も多く、10代と60代以上からの回答は少ない
- 回答者の73.6%が首都圏在住である



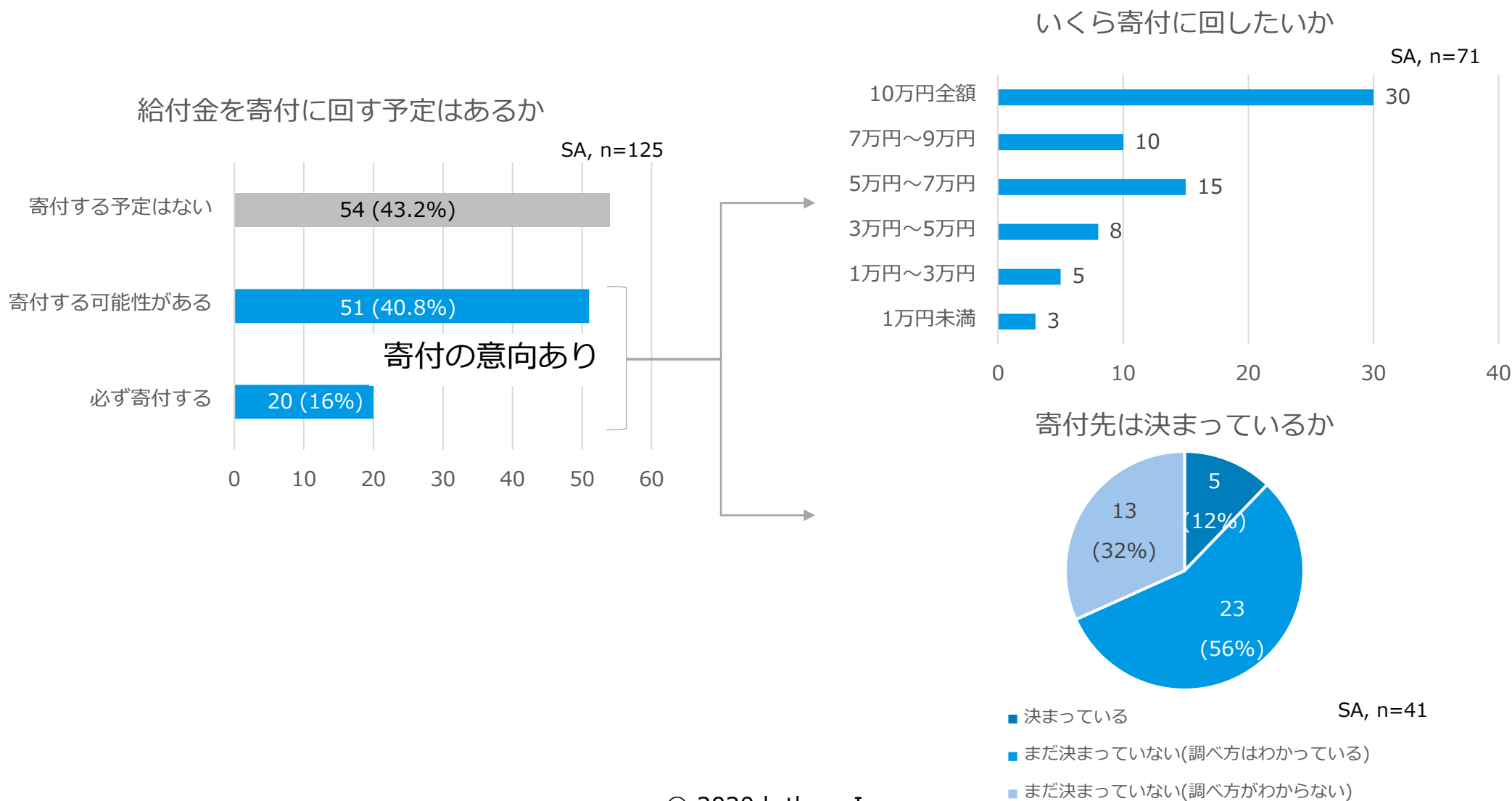
回答者の居住地

都道府県	件数
東京都	70
埼玉県	8
神奈川県	8
千葉県	6
大阪府	5
兵庫県	4
沖縄県	3
その他	21

※回答者数上位7の都道府県まで明記 SA, n=125

3-1. 調査結果：寄付の意向および寄付金額

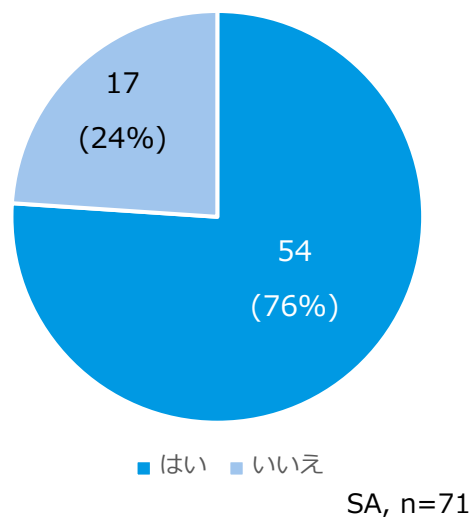
- 寄付の意向を示した人のうち、「10万円全額」を寄付に回したいとする人が最も多かった
- 寄付先については、36(87.8%)の回答者が「まだ決まっていない」と答えた



3-2. 調査結果：寄付先として重視する要素①

- 寄付先の選定では、新型コロナウイルスに関連する活動であることが重視されている
- 分野としては「医療」への関心が最も高い
- 新型コロナウイルス関連の活動であることを重視する層では、重視しない層に比べ、「社会福祉（DV・虐待防止・人権）」への関心がやや高い

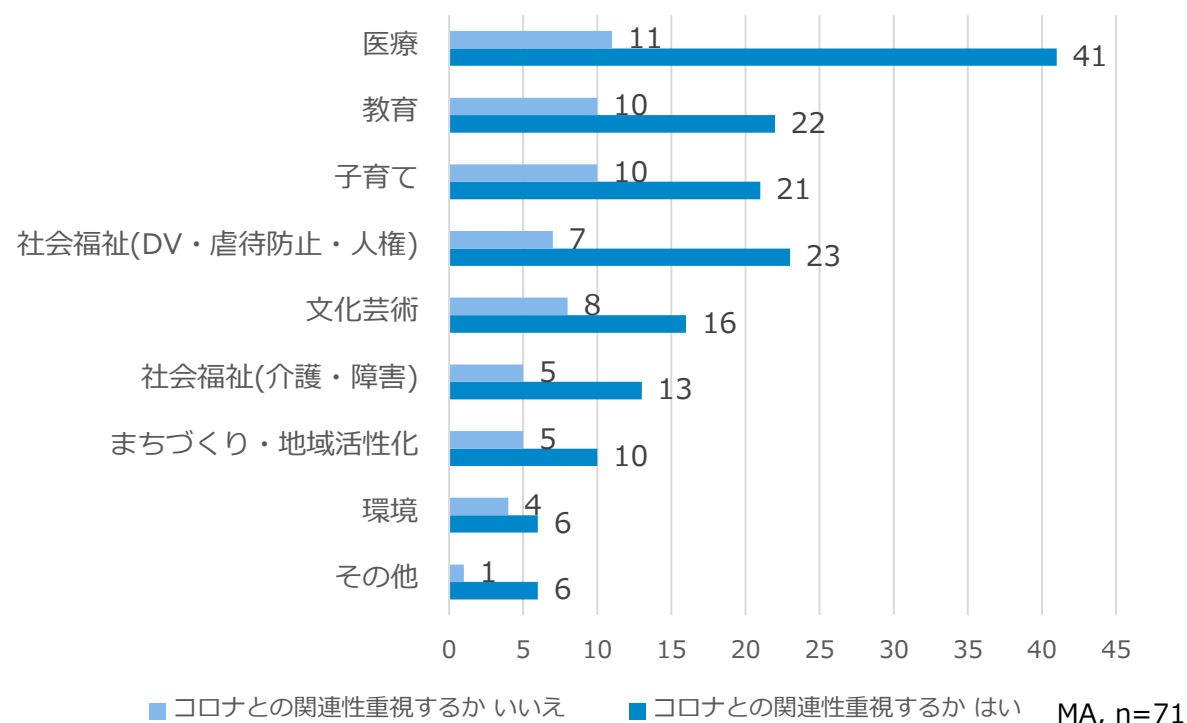
新型コロナウイルス関連の活動であることを重視するか



※回答者コメント抜粋
 通常の寄付ではなく、**コロナの活動への特定寄付やクラファン等をしていると、寄付するきっかけになる**

寄付先として関心の高い分野

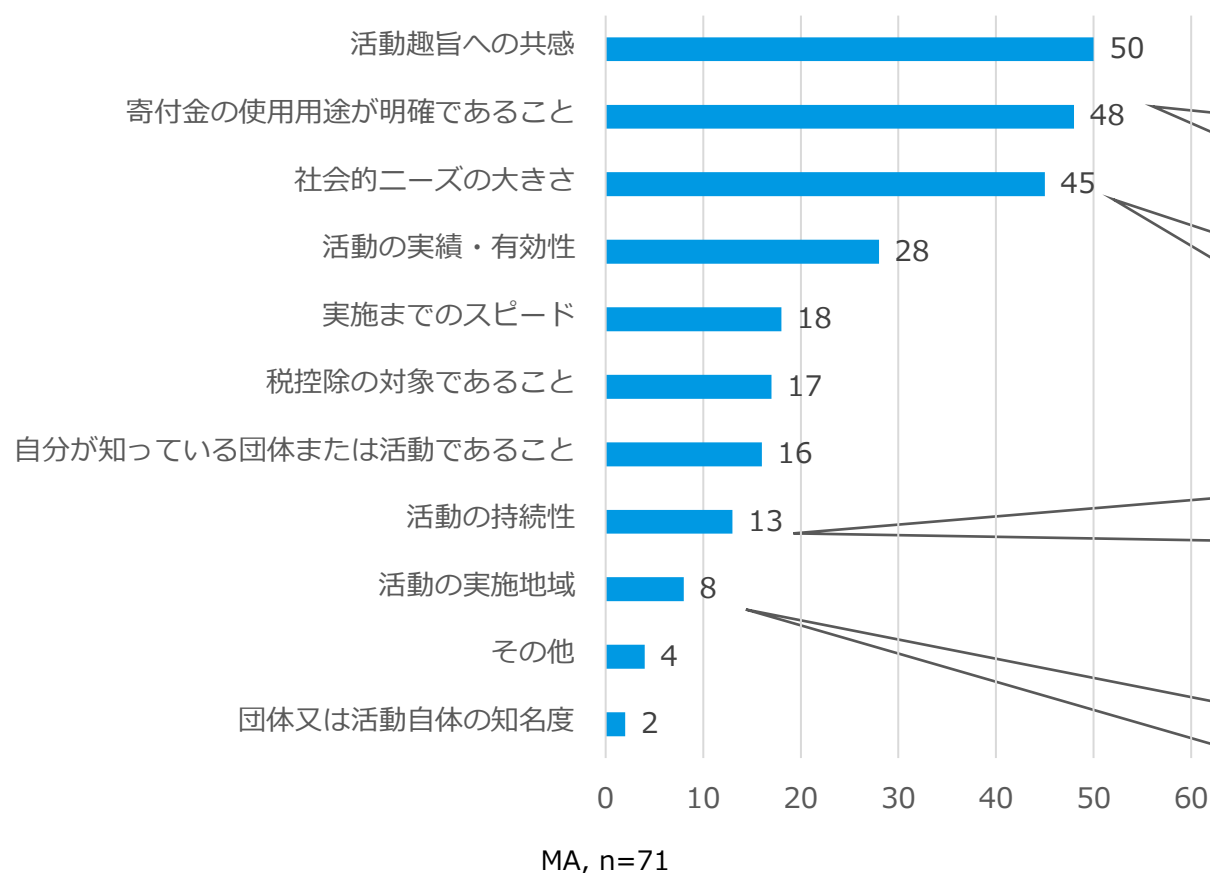
※複数回答有



3-2. 調査結果：寄付先として重視する要素②

- 寄付先の選択にあたっては、「活動趣旨への共感」「寄付金の使用用途が明確であること」「社会的ニーズの大きさ」が特に重視されている
- 回答数は多くないものの、単なる寄付ではなく経済が回る仕組みにつながることを重視するといった声や、身近な地域と紐づいた活動を応援したいという声があった

寄付先を選定する際に重視する点 ※複数回答有



※回答者コメント抜粋

- 寄付自体は難しいことではないが、どこにどれだけ寄付をするのがいいのか悩む。**緊急性とともに、いくらあると何ができるのかわかりやすいとよい**

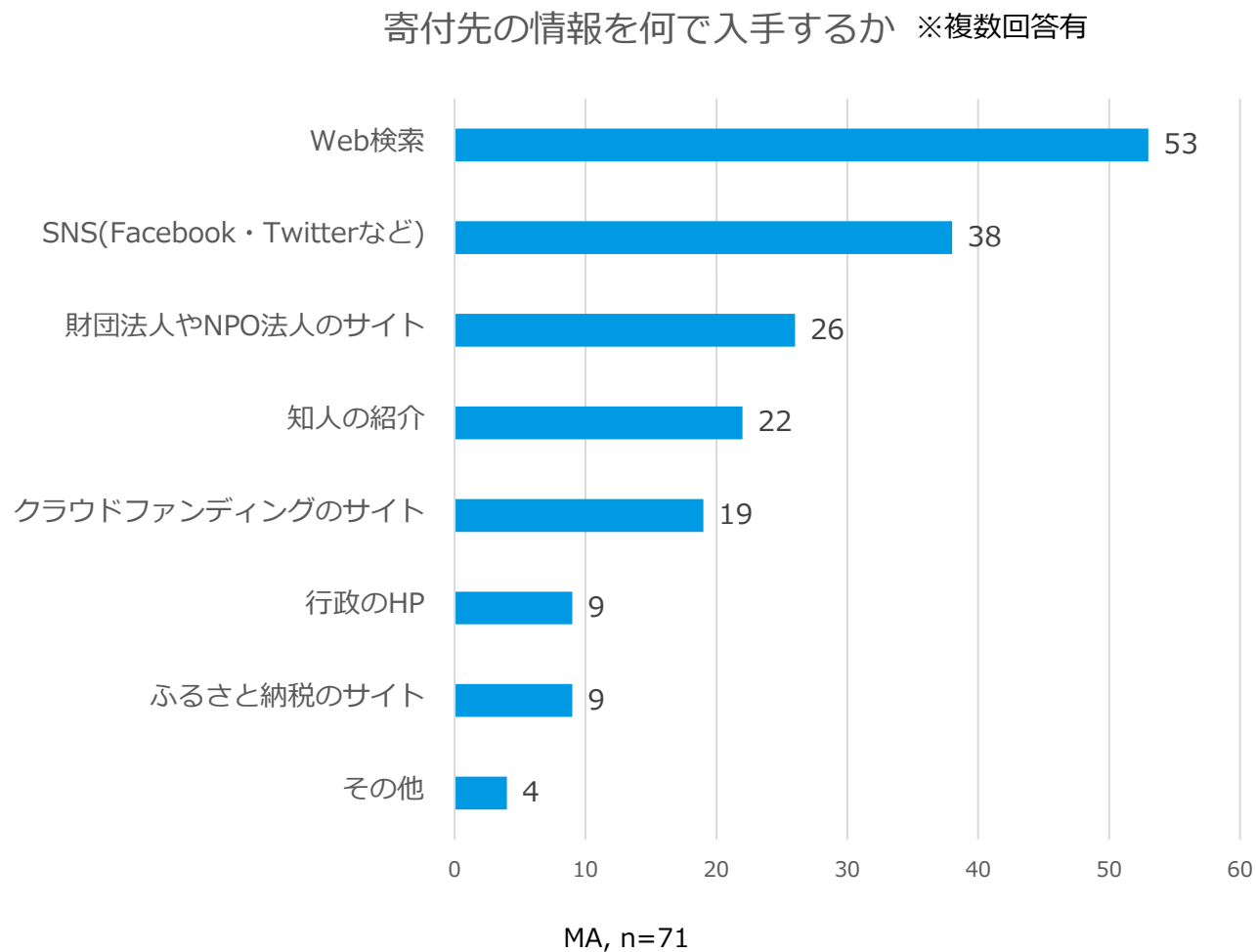
- **リアルなニーズの声**が聞きたい
- 寄付を必要としている、というメッセージを発してほしい

- **単なる寄付より購入型での寄付にした方が効果がある**
- 飲食店でのテイクアウトなどによる応援も考えている

- できれば、近所の小さくても頑張ってる団体を知りたい
- **自分の身近な地域の活動を応援できるとよい**

3-3. 調査結果：寄付先の情報収集手段

- 寄付先の情報は、Web検索やSNS経由で入手するという回答が多かった

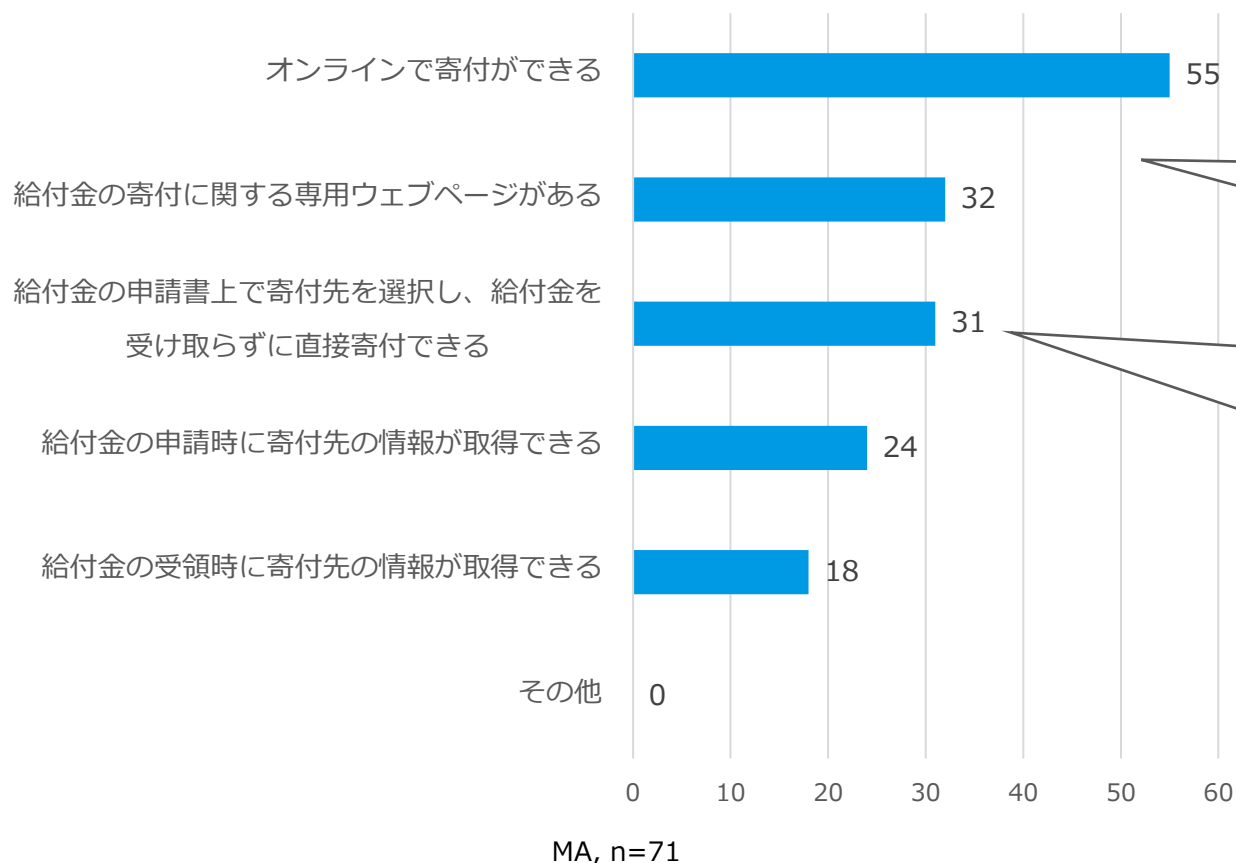


3-4. 調査結果：寄付がしやすい仕組み

- オンラインだと寄付がしやすいという意見が最も多かった
- その他の選択肢では、「給付金の寄付に関する専用ウェブページがある」、「給付金を受け取らずに直接寄付できる」の順に多く、給付金ならではの情報発信や寄付の仕組みにもニーズがあることが伺える

どのような仕組みがあると、寄付をしやすいか ※複数回答有

※回答者コメント抜粋



• ポータルサイトとオンライン決済が一緒になっている等、なるべくパッケージ化しているとよい

• 一度お金が懐に入ってしまうと惜しくなったり、寄付先を探すのが面倒になるため、**給付金の申請と同時に寄付できるようになっていた方がよい**

• 申請書に記載があれば、困窮していない限り、いづらか寄付する人は多いと思う

3-5. 調査結果：「質問10.その他、ご意見があれば教えてください」コメント抜粋

- 社会人の中にも、経済的に大きく影響を受けた人とあまり受けていない人がいる。この機に、互いに助け合う、支援、寄付の文化がより広がるといい
- (困窮していない) 自分が10万円をもらう意味を考えている。普段から社会課題解決や寄付に興味がある人、地域を良くしようと活動している人の中に、同じ想いの人はいらざる。一人だと行動しにくくても、「一緒に！」の雰囲気を作ればアクションする人は増えるかなと思う
- 多くの人々が、何か役に立つことをしたいという思いを持っていると思う。そういう人達が行動できるようなきっかけを作ってもらえたら嬉しい
- 少額でも沢山の人が寄付して大きな財源となればいい。そこから普段の寄付習慣につながる導線を張れたらいいと思う